

## 看護師の負担の軽減及び処遇の改善に関する 当院の取組について

当病院では、医療安全ならびに診療・看護の充実、勤務環境の改善などの観点から看護師の負担軽減と処遇改善に向けて下記の取組みを行っております。

項 目	取組み内容
勤務上の配慮	育児中の看護師に対し、育児短時間勤務等の制度や雇用形態の変更などにより、勤務時間に柔軟な対応を行っています。
	出退勤時間の柔軟な対応により、時間外労働時間の削減に取り組んでいます。
	計画的な年次有給休暇の取得促進に取り組んでいます。
	院内保育所を設置し、育児中の就労を支援しています。
多職種 チームによる支援	看護補助者を増員し、夜間帯での看護補助業務も行っています。
	検査部門との連携により、検査技師による病棟、外来での採血や検査検体の搬送などを行っています。
	臨床工学技士により、医療機器管理、使用に際しての教育・啓蒙、手術・透析の医療機器操作、救急カートの点検などを随時行っています。
	放射線部門との連携により、技師による造影剤の注入、抜針などを行っています。
	リハビリ部、検査部、放射線部スタッフにより、病棟での検査やリハビリの患者搬送業務を行っています。
	薬剤部門との連携により、すべての病棟に担当薬剤師を配置し服薬指導や病棟における薬剤管理などを行っています。
	薬剤部門にて入院患者の内服定期処方との薬カートへのセット作業を行っています。
	事務部門との連携により、事務職員による入院書類の説明や病棟窓口での対応などを行っています。
退院ファイルの最終チェックを事務員が行っています。	
その他	公的資格取得の支援など、看護師のキャリア形成にむけて積極的な支援を行っています。
	多職種からなる「職員負担軽減委員会」を設置し、業務の効率化や無駄の排除、医師や看護師、医療関係職種、事務職員等における役割分担の検討や見直しを行っています。
	臨床心理士によるメンタルヘルスケア体制を充実させています。
	バイタルデータ自動送信システム、「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」のリアルモニタリングシステムとろみ作り自動サーバーの導入による業務負担の軽減を図っています。